

府中市市民協働推進行動計画(平成30年度～令和3年度) 進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画				進捗状況															
					R1	R2	R3	H29				H30				R1				R2				
								進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	R2年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	R3年度へ向けた取組
推進方策1 市民の協働に対する意識の醸成																								
目標(1)市民協働に関する効果的な啓発・PR活動の推進																								
1	市民協働推進シンポジウムの開催	協働推進課		市民協働の理念や市の取組について、広く市民にお知らせするとともに、今後の取組や活動につなぐことができるよう、シンポジウムを開催します。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	市民協働推進月間に合わせ、市民活動センターにおいて、産業能率大学経営学部教授の中島氏による基調講演と、「福祉」「まちづくり」「青少年」と異なる分野で活動されている3名の府中市民をパネリストとして迎え、中島氏によるパネルディスカッションを実施した。また、シンポジウム終了後、登壇者と希望者による懇親会を実施した。	開催日時の設定が参加対象者に合っており、参加率が低い結果となった。	参加対象者に合わせた開催ができるよう、早期に施設予約を行う。市内の身近な協働事例の掘り起こしと団体との関係づくりを行う。	平成29年度より指定管理者業務に移管	計画通りに進んでいる	市民協働推進月間に合わせ、市民活動センターにおいて、認定NPO法人「ビスグラ」代表理事の嵯峨氏による基調講演を実施した。また、地域で活動されている2名の団体代表者より事例紹介をしていただくとともに、パネリストとして迎え、市民活動センター館長吉田氏、嵯峨氏によるパネルディスカッションを実施した。また、シンポジウム終了後、登壇者と希望者による懇親会を実施した。	参加対象者に合わせた開催ができるよう、早めに会場を確保する。また、連絡を密に取り合い、内容についての協議、登壇者へのアプローチを早めに行うとともに、スムーズに広報活動を行う。	登壇者の確定が遅れ、広報活動のスケジュールに影響した。パネルディスカッションの事前打合せが十分ではなかった。	参加対象者に合わせた開催ができるよう、早めに会場を確保する。また、連絡を密に取り合い、内容についての協議、登壇者へのアプローチを早めに行うとともに、スムーズに広報活動を行う。	計画通りに進んでいる	市民協働推進月間に合わせ、市民活動センターにおいて、認定NPO法人「ビスグラ」代表理事の嵯峨氏による基調講演を実施した。また、地域で活動されている2名の団体代表者より事例紹介をしていただくとともに、パネリストとして迎え、市民活動センター館長吉田氏、嵯峨氏によるパネルディスカッションを実施した。また、シンポジウム終了後、登壇者と希望者による懇親会を実施した。	より多くの市民に参加いただけるよう、シンポジウムの開催形式を見直すとともに、周知を強化する。	計画通りに進んでいる	市民協働推進月間に合わせ、市民活動センターにおいて、認定NPO法人「ビスグラ」代表理事の嵯峨氏による基調講演を実施した。また、地域で活動されている2名の団体代表者より事例紹介をしていただくとともに、パネリストとして迎え、市民活動センター館長吉田氏、嵯峨氏によるパネルディスカッションを実施した。また、シンポジウム終了後、登壇者と希望者による懇親会を実施した。	「コロナ禍のため、会場とオンラインとの併用開催を初めて試みたが、第1部については、シンポジウム開催後もYouTubeに公開したことで、シンポジウム当日以外にも視聴できる機会を提供することができた(12/24時点 再生回数220回)。来年度も引き続き同様の手法を検討する。市民協働まつりと同時開催だったため、シンポジウムがまつりのプログラムの1つとして捉えられた側面が強く、シンポジウムの周知が効果的にできなかった。来年度は、まつりとは別の日に、シンポジウム単体で開催する。	
2	市民協働出前講座の実施	協働推進課	文化生涯学習課	市民や各活動団体等の要請に応じ、市が目指す市民協働の理念や取組状況等について、市職員が講師となって情報提供を行う出前講座を積極的に実施します。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	提案型協働事業のPRチラシへの掲載や協働に関する事業等で積極的に周知を図った。【講座要請数】1回	取組の認知度の向上。	引き続き、出前講座自体の活用状況を把握するとともに、提案型協働事業のPRチラシへの掲載や協働に関する事業のほか他課に働きかけを行うなど積極的に周知を図る。	計画通りに進んでいる	提案型協働事業のPRチラシへの掲載や協働に関する事業等で積極的に周知を図った。【講座要請数】1回	取組の認知度の向上。	引き続き、出前講座自体の活用状況を把握するとともに、提案型協働事業のPRチラシへの掲載や協働に関する事業のほか他課に働きかけを行うなど積極的に周知を図る。	計画通りに進んでいる	提案型協働事業のPRチラシへの掲載や協働に関する事業等で積極的に周知を図った。【講座要請数】0回	引き続き、出前講座自体の活用状況を把握するとともに、提案型協働事業のPRチラシへの掲載や協働に関する事業のほか他課に働きかけを行うなど積極的に周知を図る。	計画通りに進んでいる	提案型協働事業のPRチラシへの掲載や協働に関する事業等で積極的に周知を図った。【講座要請数】0回	引き続き、出前講座自体の活用状況を把握するとともに、提案型協働事業のPRチラシへの掲載や協働に関する事業のほか他課に働きかけを行うなど積極的に周知を図る。			
3	協働事例集の作成	協働推進課	関係課	市内の各活動団体等の様々な協働事例から、ノウハウや成果等を学ぶとともに、実務の手引にもなる事例集を作成します。	発行	発行	発行	計画通りに進んでいる	28年度に作った事例集をブラッツHPにリンクを貼って紹介。また、それ以外の事例についてもブラッツの機関誌やSNSやHPを活用し、少しずつ紹介をしていっている。	28年度に作成した紙版の残数が少なく、配布ができない。新規に取材・紹介をしていっているが、事例が少ない。	事例の掘り起こし。	平成29年度より指定管理者業務に移管	ブラッツのHP・SNS等で協働の事例を少しずつ紹介していている。	配布活用できる紙版がないので、アビールが弱い。	紙媒体の更新に向け、事例のストックと取材や編集に協力してもらえ人材の育成について検討。	ブラッツのHP・SNS等で協働の事例を少しずつ紹介していている。	ブラッツのHP・SNS等で協働の事例をまとめて見ることができるよう、一覧ページの作成を検討する。	計画通りに進んでいる	ブラッツのHP・SNS等で協働の事例をまとめて見ることができるよう、一覧ページの作成を検討する。	計画通りに進んでいる	ブラッツのHP・SNS等で協働の事例を紹介しつつ、その特設ページをR3に作成するために、HPのサイトマップおよび掲載形式を検討した。	ブラッツHP内に「協働の事例紹介コーナー」を設け、既掲載記事や情報を中心にページを構成できるように、情報を整理する。		
目標(2)新たに協働に取り組もうとする市民への参加の機会づくり																								
4	市民活動・協働に関する入門講座の実施	協働推進課		これまで、意欲はあっても公益的な活動や協働事業に参加する機会がなかった市民や、これらの取組に参加したいという意欲のある若い世代を対象とした講座や講演会などを開催します。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	①市民活動入門講座を開催した。 ・「まちに踏み出す！ポランテア」16名 ・「おいしいでつなげよう！まちづくりの輪」16名 ・「男の市民活動入門」14名 ②講演会を開催した。 ・「外遊びの楽しさ再発見！冒険遊び場」ってなあに？150名 ・「セカンドキャリアを考える内多勝康」(10月) ・「発達障害とサウンドラを伝える」(福田万重)11月 ・「字りが教えてくれた」と犬が共存する社会/大木トオル(2月)	①入門講座は、単発の講座の繰り返しでは実際の活動への足掛かりとしては限界がある。 ②講演会は、社会課題の啓発、活動への参加のきっかけとして有効であるので、様々なテーマでの開催が必要。	①入門講座は連続講座として開催する。 ②講演会はブラッツ1周年にあわせて告知を強化し、市民活動への関心層を広げる。	平成29年度より指定管理者業務に移管 ※商業施設と同じ建物内にあるため、無関心層の来場が多く見られる。そのため、まずは無関心層を関心層に「引き上げるための取組を行っている状況である。	計画通りに進んでいる	①入門講座2クール開催。 はじめての市民活動入門編(全5回)/50から始めるまち活動(全4回) ②講演会は、1周年企画として「川島成道後援会&ミニワイオリコンサート」を開催した。 ③無関心層の引き上げの為に「入門講座や講演会に参加する以前の方向けに、「ブラッツカフェ」を開催。8回	①入門講座はシニアの参加をどう促すが課題。 ②講演会は、引き続き様々なテーマ出で、が課題。 ③ミニ講演会にならないよう、参加者が自分を出せる雰囲気づくりに留意しながら継続。	①子育て世代向け講座(5～6月開催)全5回。 集客に課題は残したが満足度は非常に高く、受講生の内2人が講座終了後すぐに自分のスキル(音楽)を活かした活動を始めた。 ②シニア向け講座全4回。受講生5名。現代時代のキャリア、スキルを活かしてのライフの提案講座。最終回「活動への決意表明」は、コロナの影響による自棄のため、次年度への無期延期とし、継続したサポートを続ける。 ③実践ボランティア活動講座(絵本ポランテア)2回開催 講座終了後、事務局から、ポランテアの美談の呼びかけをしたところ、継続的なポランテアが生まれた。 ④講演会1～7講演会4「引きこもりを考える」林藤子(6月) 「セカンドキャリアを考える内多勝康」(10月) 「発達障害とサウンドラを伝える」(福田万重)11月 「字りが教えてくれた」と犬が共存する社会/大木トオル(2月)	①市民ライター養成講座 修了時全受講生が市内各団体をインテリジェントな冊子作製。 ②何らかの形で3年度にシニア向けオンライン活用講座緊急事態発生により開催中止 ③受講生の講座後の活躍を確認できたので、時宜にあったサポートを続けていく ④講演会「生涯、楽しむ」を考える	①KOKOIKOの記事作成など、ライターとしての実践を促す ②何らかの形で3年度にシニア向けオンライン講座を開催する。 ③受講生の講座後の活躍を確認できたので、時宜にあったサポートを続けていく ④講演会「生涯、楽しむ」を考える						

府中市市民協働推進行動計画(平成30年度～令和3年度) 進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画				進捗状況																						
					R1	R2	R3	H29				H30				R1				R2											
								進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考				
5	次代の協働の担い手の育成に向けた各種事業の実施	指導室	地域コミュニティ課	地域に愛着を持ち、積極的に地域活動や協働のまちづくりに取り組む将来の人材を育成するため、児童・生徒等の子どもたちが地域とつながり深めることができる事業を実施することができた。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	地域に愛着を持ち、積極的に地域活動や協働のまちづくりに取り組む将来の人材等を育成するため、児童・生徒等の子どもたちが地域とつながり深めることができる事業を実施することができた。	引き続き、児童・生徒等の子どもたちが地域とつながり深めることができる方策について、研究等を行う。事業推進することが課題である。	引き続き事業を実施する。	計画通りに進んでいる	地域に愛着を持ち、積極的に地域活動や協働のまちづくりに取り組む将来の人材等を育成するため、児童・生徒等の子どもたちが地域とつながり深めることができる事業を実施することができた。	引き続き、児童・生徒等の子どもたちが地域とつながり深めることができる方策について、研究等を行う。事業推進することが課題である。	引き続き事業を実施する。	計画通りに進んでいる	地域に愛着を持ち、積極的に地域活動や協働のまちづくりに取り組む将来の人材等を育成するため、児童・生徒等の子どもたちが地域とつながり深めることができる事業を実施することができた。	引き続き、児童・生徒等の子どもたちが地域とつながり深めることができる方策について、研究等を行う。事業を推進する。	計画通りに進んでいる	地域に愛着を持ち、積極的に地域活動や協働のまちづくりに取り組む将来の人材等を育成するため、市内の素材を用いて授業を実施したり、地域の人材と連携した授業を実施した。	引き続き、児童・生徒が地域とつながり深めることができる方策について、研究等を行う。事業を推進する。	計画通りに進んでいる	地域に愛着を持ち、積極的に地域活動や協働のまちづくりに取り組む将来の人材等を育成するため、児童・生徒等の子どもたちが地域とつながり深めることができる事業を実施することができた。	引き続き、児童・生徒が地域とつながり深めることができる方策について、研究等を行う。事業を推進する。	計画通りに進んでいる	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年実施していたイベントや活動は大きく制限されたが、放課後子ども教室事業や青少年対策地区委員会事業など青少年健全育成に関わるNPO法人や地域のボランティアと協力しながら、今後の事業の継続に向けた調整を行った。	コロナ禍における事業および地域とのつながりを継続していくため、NPO法人や地域のボランティアと協力し、今後の取組を検討、工夫し、相互の能力を生かした青少年健全育成事業を進めていく。	計画通りに進んでいる	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年実施していたイベントや活動は大きく制限されたが、放課後子ども教室事業や青少年対策地区委員会事業など青少年健全育成に関わるNPO法人や地域のボランティアと協力しながら、今後の事業の継続に向けた調整を行った。	コロナ禍における事業および地域とのつながりを継続していくため、NPO法人や地域のボランティアと協力し、今後の取組を検討、工夫し、相互の能力を生かした青少年健全育成事業を進めていく。	計画通りに進んでいる
					児童青少年課	地域に愛着を持ち、積極的に地域活動や協働のまちづくりに取り組む将来の人材を育成するため、児童・生徒等の子どもたちが地域とつながり深めることができる事業を実施します。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	放課後子ども教室事業や青少年健全育成強固事業など、NPO法人や地域のボランティアと協力しながら、様々なイベントや啓発活動をおとし、地域と子どもたちとのつながり深めることができた。	情報交換を密に行い、お互いの立場を理解しあうことで、市と協力者のより良い協働関係を構築する必要がある。	引き続き、青少年健全育成のため、NPO法人や地域と協力しながら事業を進めていく。	計画通りに進んでいる	NPO法人や地域のボランティアと協力しながら、放課後子ども教室事業や青少年対策地区委員会事業など青少年健全育成に係る様々なイベントや啓発活動を実施し、地域と子どもたちとのつながり深めることができた。	協力者と情報交換を密に行い、お互いの立場を理解しあうことで、市と協力者のより良い協働関係を構築する必要がある。	引き続き、NPO法人や地域のボランティアと協力し、相互の能力を生かした青少年健全育成事業を進めていく。	計画通りに進んでいる	NPO法人や地域のボランティアと協力しながら、放課後子ども教室事業や青少年対策地区委員会事業など青少年健全育成に係る様々なイベントや啓発活動を実施し、地域と子どもたちとのつながり深めることができた。	引き続き、NPO法人や地域のボランティアと協力し、相互の能力を生かした青少年健全育成事業を進めていく。	計画通りに進んでいる	NPO法人や地域のボランティアと協力しながら、放課後子ども教室事業や青少年対策地区委員会事業など青少年健全育成に係る様々なイベントや啓発活動を実施し、地域と子どもたちとのつながり深めることができた。	引き続き、NPO法人や地域のボランティアと協力し、相互の能力を生かした青少年健全育成事業を進めていく。	計画通りに進んでいる	NPO法人や地域のボランティアと協力しながら、放課後子ども教室事業や青少年対策地区委員会事業など青少年健全育成に係る様々なイベントや啓発活動を実施し、地域と子どもたちとのつながり深めることができた。	引き続き、NPO法人や地域のボランティアと協力し、相互の能力を生かした青少年健全育成事業を進めていく。	計画通りに進んでいる	NPO法人や地域のボランティアと協力しながら、放課後子ども教室事業や青少年対策地区委員会事業など青少年健全育成に係る様々なイベントや啓発活動を実施し、地域と子どもたちとのつながり深めることができた。	引き続き、NPO法人や地域のボランティアと協力し、相互の能力を生かした青少年健全育成事業を進めていく。	計画通りに進んでいる	
目標(3) 地域を支える各リーダーに対する啓発・情報提供																															
6	専門講座の実施	協働推進課	各活動団体のうち、特に地縁型活動団体及び目的型活動団体のリーダーや活動の担い手となる人材を対象に組織基盤強化するとともに、協働に関する学習会等を実施します。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	専門講座の開催 ・「資金調達力を磨く」16名 ・「資金調達力を磨く」215名 ・「伝えたいが伝わるチラシをつくる」19名 ・「写真を活かした広報戦略」28名 ・「Facebook発信講座」22名 ・「チーム力を上げて地域を盛りあげよう」115名 ・「チーム力を上げて地域を盛りあげよう」2116名 ・「チーム力を上げて地域を盛りあげよう」3115名 ・「人が集まる！成功するイベントの作り方①」24名 ・「人が集まる！成功するイベントの作り方②」12名	多様なテーマを設定し、座学だけではなくワークショップも豊富な内容を提供し、実践的な内容としたが、その後、そこで得た学びがどのように生かされているか伝えていない。	学ぶだけでなく、実際に活用できているか、来館時などに声掛けしつながりを継続しながらフォローアップしていく。	また、引き続きすでに活動している層が必要な知識、スキルが学べる講座を展開していく。	平成29年度より指定管理者業務に移管 ※開館後登録団体数が伸びているため、まずは団体の組織基盤の強化が緊迫の課題である。今後状況を見ながら協働への理解を深める取組についても検討するよう働きかける。	計画通りに進んでいる	専門講座の開催 12回開催 ・「これからのNPO・市民活動を一掃に考えよう」18名 ・「団体・組織の運営スキルを学ぶ」116名 ・「伝えたいが伝わる！チラシ作り」27名 ・「助成金を獲得する7つの方法」126名 ・「助成金を獲得する7つの方法」2115名 ・「人が集まるチラシデザインのコツ」35名 ・「写真を活かした広報戦略」27名 ・「マーケティングに効果的なホームページ活用講座」27名 ・「Facebookで仲間を増やそう」120名 ・「団体のための情報発信講座」1団体1PR映像を作ろう！～iPadで作る映画製作から」111名 ・「団体でPR映像を作ろう！～iPadで作る映画製作から」2111名 ・「人が集まるチラシデザインのコツ」リターンズ」29名	多様なテーマを設定し、座学だけではなくワークショップも豊富な内容を提供し、実践的な内容としたが、その後、そこで得た学びがどのように生かされているか効果が出ていない。	団体として連続して受講してもらいながら、団体の基盤強化に成果を出してもらおう。	計画通りに進んでいる	全12回246名が参加前講座の平均点86.8点 ①「NPOが目ざすカタチ発想の転換 これからの20年」132名 ②「チームを活性化させる会議のコツ」32名 ③「NPOのためのバックオフィス」19名 ④「団体・組織運営スキルアップ」17名 ⑤「団体・組織運営スキルアップ」216名 ⑥「団体が成長するための助成金の活用」22名 ⑦「伝えたい！」をカタチにするチラシ講座」33名 ⑧「事例で学ぶWebサイト活用講座」26名 ⑨「団体の基盤を整える情報セキュリティ講座」12名 ⑩「共感を呼ぶクラウドファンディング」118名 ⑪「共感を呼ぶクラウドファンディング」2115名 ⑫「見た目で惹きつける！団体のロゴづくり講座」24名 ○プラットフォーム委員会制度」6団体がエントリー。の46名が参加。交流会を1回開催。	立ち上げ期の団体から多年度活動している団体まで、団体の状況に沿った受講ができるよう、同じテーマを初級中級編を複数回の講座を設定し、団体に適した講座の受講を進め、団体の成長を促す。プラットフォームを継続し、登録団体支援を行う。	計画通りに進んでいる	○全11回開催。合計213名。専門講座全体での平均点は82.9点との評価だった。 ○「プラットフォーム」の開催。 ○コロナ禍により、例年実施していた受講ができるようなテーマでの基礎応用編など段階的な内容設定をし、団体の成長をサポートしていく。 ○コロナ禍の状況により、オンラインと会場開催を併用し開催する。プラットフォームを継続し、登録団体の支援を行う。	引き続き、団体の成長状況に沿った受講ができるようなテーマでの基礎応用編など段階的な内容設定をし、団体の成長をサポートしていく。 ○コロナ禍の状況により、オンラインと会場開催を併用し開催する。プラットフォームを継続し、登録団体の支援を行う。	計画通りに進んでいる	○全11回開催。合計213名。専門講座全体での平均点は82.9点との評価だった。 ○「プラットフォーム」の開催。 ○コロナ禍により、例年実施していた受講ができるようなテーマでの基礎応用編など段階的な内容設定をし、団体の成長をサポートしていく。 ○コロナ禍の状況により、オンラインと会場開催を併用し開催する。プラットフォームを継続し、登録団体の支援を行う。	引き続き、団体の成長状況に沿った受講ができるようなテーマでの基礎応用編など段階的な内容設定をし、団体の成長をサポートしていく。 ○コロナ禍の状況により、オンラインと会場開催を併用し開催する。プラットフォームを継続し、登録団体の支援を行う。	計画通りに進んでいる					
				目標(4) 大学・学生との協働の推進																											
7	大学・学生への市民協働に係る情報提供及び相談窓口の充実	協働推進課	全課	大学・学生と、更に効果的な協働事業を実施するため、市の市民協働に向けた取組に係る情報や、市内における協働の機会等に関する情報を積極的に提供します。また、市との協働事業を実施するため、相談・調整しやすい環境を整えます。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	平成29年度から大学連携について政策課から、協働推進課へ事務移管があった。連携体制を構築している東京農工大学、東京外国語大学と協働事業について情報共有を行った。	引き続き、相談・調整しやすい環境を整えるとともに連携体制がより密になるよう検討していく。	計画通りに進んでいる	大学によって関わり方が違うため相談・調整しやすい環境づくりを行うとともに、窓口の周知を行う必要がある。また、協定を締結している大学以外の大学とも協働事業の内容を把握するとともに密な体制の構築を図る。	引き続き、相談・調整しやすい環境を整えるとともに市と大学、大学同士のより一層の連携推進のため新たな連携体制について検討する。	計画通りに進んでいる	大学によって関わり方が違うため相談・調整しやすい環境づくりを行うとともに、窓口の周知を行う必要がある。また、協定を締結している大学以外の大学とも協働事業の内容を把握するとともに密な体制の構築を図る。	引き続き、相談・調整しやすい環境を整えるとともに市と大学、大学同士のより一層の連携推進のため新たな連携体制について検討する。	計画通りに進んでいる	大学によって関わり方が違うため相談・調整しやすい環境を整えるとともに市と大学、大学同士のより一層の連携推進のため新たな連携体制について検討する。	引き続き、相談・調整しやすい環境を整えるとともに市と大学、大学同士のより一層の連携推進のため新たな連携体制について検討する。	計画通りに進んでいる	大学によって関わり方が違うため相談・調整しやすい環境を整えるとともに市と大学、大学同士のより一層の連携推進のため新たな連携体制について検討する。	引き続き、相談・調整しやすい環境を整えるとともに市と大学、大学同士のより一層の連携推進のため新たな連携体制について検討する。	計画通りに進んでいる	大学によって関わり方が違うため相談・調整しやすい環境を整えるとともに市と大学、大学同士のより一層の連携推進のため新たな連携体制について検討する。	引き続き、相談・調整しやすい環境を整えるとともに市と大学、大学同士のより一層の連携推進のため新たな連携体制について検討する。	計画通りに進んでいる					
					目標(5) 企業との協働の推進																										
8	企業に対する市民協働に関する情報の積極的な提供	産業振興課	協働推進課	企業に対して、市が推進する市民協働に関する情報を、市民活動センターや商工会議所等を通じ、積極的に提供します。また、市との協働事業を実施するため、相談・調整しやすい環境を整えます。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	工業技術情報センターを中心に、情報提供を実施した。	工業技術情報センターを中心に、情報提供の実施を継続する。	計画通りに進んでいる	工業技術情報センターを中心に、情報提供を実施した。	工業技術情報センターを中心に、情報提供の実施を継続する。	計画通りに進んでいる	工業技術情報センターを中心に、情報提供を実施した。	工業技術情報センターを中心に、情報提供の実施を継続する。	計画通りに進んでいる	工業技術情報センターを中心に、情報提供を実施した。	工業技術情報センターを中心に、情報提供の実施を継続する。	計画通りに進んでいる	工業技術情報センターを中心に、情報提供を実施した。	工業技術情報センターを中心に、情報提供の実施を継続する。	計画通りに進んでいる	工業技術情報センターを中心に、情報提供を実施した。	工業技術情報センターを中心に、情報提供の実施を継続する。	計画通りに進んでいる	工業技術情報センターを中心に、情報提供を実施した。	工業技術情報センターを中心に、情報提供の実施を継続する。	計画通りに進んでいる		
					目標(5) 企業との協働の推進																										

府中市市民協働推進行動計画(平成30年度~令和3年度) 進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画																										
					計画					H29					H30					R1					R2						
					R1	R2	R3	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考				
9	企業との協働を推進するための各種仕組みの整備	産業振興課 協働推進課		企業と各活動団体や市とが、積極的に協働事業を検討し、実施できるようにするため、相互に相談・調整・情報交換ができる仕組みや、市が推進する市民協働の取組に賛同し、協働によるまちづくりや各活動団体への支援などに積極的に企業を紹介する仕組みを整備します。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに入っている	工業技術情報センターにおいて、企業の活用ガイドブック及びセンターHPをリニューアルし、きめ細かく企業紹介を行った。		センターHPや異業種交流事業などを活用し、企業のマッチングがより一層円滑に進むよう整備を行った。		計画通りに入っている	工業技術情報センターにおいて、企業の活用ガイドブック及びセンターHPをリニューアルし、きめ細かく企業紹介を行った。		センターHPや異業種交流事業などを活用し、企業のマッチングがより一層円滑に進むよう整備を行った。		計画通りに入っている	工業技術情報センターにおいて、企業の活用ガイドブック及びセンターHPをリニューアルし、きめ細かく企業紹介を行った。		継続して情報提供に努める。		計画通りに入っている	工業技術情報センターにおいて、企業の活用ガイドブック及びセンターHPをリニューアルし、きめ細かく企業紹介を行った。		継続して情報提供に努める。					
								計画通りに入っていない	他市の事例を中心に調査を行うとともに、市民活動センターと、企業による協働の取組や、CSRの活動を紹介するなど、積極的に取り組む必要がある。	市民活動センターの開催に伴い、企業による協働の取組や、CSRの活動を紹介するなどの取組を進め、協働の取組や、CSRの活動を推進する仕組みを整備する。		計画通りに入っている	企業からの相談を受け、関係課と打合せを実施するほか、情報提供を行った。また、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と地域活性化に関する協定を締結した。		計画通りに入っている	企業からの相談を受け、関係課と打合せを実施するほか、情報提供を行った。また、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と地域活性化に関する協定を締結した。		引き続き、企業と関係課をつなぐ情報提供等を行うとともに、市民活動センターと連携しながら、企業による協働の取組や、CSRの活動を推進する仕組みを整備する。		計画通りに入っている	企業からの相談を受け、関係課と打合せを実施するほか、情報提供を行った。また、三井住友海上火災保険株式会社と地域活性化に関する協定を締結した。		引き続き、企業と関係課をつなぐ情報提供等を行うとともに、市民活動センターと連携しながら、企業による協働の取組や、CSRの活動を推進する仕組みを整備する。		計画通りに入っている	企業からの相談を受け、関係課と打合せを実施するほか、情報提供を行った。また、三井住友海上火災保険株式会社と地域活性化に関する協定を締結した。		引き続き、企業と関係課をつなぐ情報提供等を行うとともに、市民活動センターと連携しながら、企業による協働の取組や、CSRの活動を推進する仕組みを整備する。			
推進方策2 職員の意識改革及びスキルアップ																															
目標(1) 職員研修の充実等																															
10	職員研修プログラムの充実	職員課 協働推進課		市民協働の理念や推進手法を学ぶ従来の研修に加え、実際の協働の現場において体験型の研修を行うなど、研修プログラムの充実を図ります。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに入っている	関係課への情報提供及び協議を行った。		引き続き、関係課と協力し、事業を進めていく。		計画通りに入っている	関係課への情報提供及び協議を行った。		引き続き、関係課と協力し、事業を進めていく。		計画通りに入っている	関係課への情報提供及び協議を行った。		引き続き、関係課と協力し、事業を進めていく。		計画通りに入っている	関係課への情報提供及び協議を行った。		引き続き、関係課と協力し、事業を進めていく。					
								計画通りに入っている	具体的実施に向け、関係課と協議を行った。今年度より、入庁6年目の職員を対象に、協働の現場に派遣する体験型の研修を行い、12団体に派遣した。	体験研修について、体験先による時間や内容の差にバラつきがある。また、イベントの人員として捉えている団体もある。	引き続き入庁6年目の職員を対象に、協働の現場に派遣を行うほか、派遣団体に対する周知や応募要件の見直しを検討する。		計画通りに入っている	入庁6年目の職員を対象に、協働の現場に派遣する体験型の研修を行い、19団体に派遣した。		計画通りに入っている	体験研修前のオリエンテーションを必須条件とするなど、応募要件の見直しを検討する。		引き続き入庁6年目の職員を対象に、協働の現場に派遣を行うほか、派遣団体に対する周知や応募要件の見直しを検討する。		計画通りに入っている	入庁6年目の職員を対象に、協働の現場に派遣する体験型の研修を行い、過去の体験研修で満足度の高い6団体に派遣した。		計画通りに入っている	これまでの「協働とは」という内容から一歩進んで、「協働は検討しなければならぬ」というより実践的な内容で研修を実施した。また、人となることが重要性的について、民間外部講師による講演を実施した。		計画通りに入っている	引き続き、職員の現状やニーズに合う研修内容を検討し、実施していく。			
市民協働推進シンポジウムの開催																															
目標(2) 職員が協働の経験を積むための環境づくり																															
11	職員が公益的な活動に参加しやすい環境の推進	協働推進課	職員課	休暇制度の啓発など、職員が公益的な活動に参加しやすい環境を推進します。	継続実施	継続実施	継続実施	完了(目標を達成)	平成29年7月1日からボランティア休暇の対象範囲の拡大を行った。(7人・16件の取得実績あり)		対象範囲に、「国、地方公共団体が主催、共催、協賛又は後援する事業を支援する活動」などを追加したが、取得イメージを容易にするために、具体的		計画通りに入っていない	制度の拡大で、取得促進のための周知等を行っていない。		取得促進のための周知を行う必要がある。		計画通りに入っている	取得促進のため、庁内報「協働通信」に掲載し、周知を行った。		引き続き、庁内報に掲載するなど、取得促進のための周知を行う。		計画通りに入っている	取得促進のため、職員意識調査に掲載し、周知を行った。		引き続き、職員意識調査に掲載するなど、取得促進のための周知を行う。					
推進方策3 情報共有及び双方向型コミュニケーションの推進																															
目標(1) 市からの情報発信方法の充実																															
12	市民活動・市民協働に関する提供情報の拡充	協働推進課		「コミュニティサイトふちゆう」やインターネット等を活用して、市民や各活動団体等の公益的な活動や協働に関する情報を収集するとともに、分かりやすく発信します。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに入っている	指定管理者により、センター登録団体とコミュニティサイトふちゆうの登録団体の統一化をしたことに加え、コミュニティサイトふちゆう活用講座兼団体交流会を開催し、団体の情報発信力の強化を図った。また、メールマガジンの配信も開始した。		コミュニティサイトふちゆう活用講座の開催を継続するとともに、団体登録更新完了時のアナウンスやイベントの際の団体展示ブース出展時、プラッツHP等による団体イベント紹介等に声掛けし利用を促す。		計画通りに入っている	市民活動団体の登録団体数が約400団体となり、各団体の新規登録および更新時にコミュニティサイトふちゆうの活用・操作に関するアドバイスを体系的に行うことができ、掲載件数が増加した。		10年以上継続活用している現コミュニティサイトふちゆうのポータルサイト機能およびデザイン面で充実が必要な状況となり、新たなシステムの検討を進めなければならない。		計画通りに入っている	WebやSNS媒体を通じて、市民活動団体と市民、他組織との協働コーディネートに資する新たなポータルサイトの構築を目指す。新システムの導入に取り組む。		計画通りに入っている	市民活動団体の登録団体数が約486団体となり、コミュニティサイトふちゆうへ活動情報等を掲載する団体の増加に加え、機能、デザインを一新した新たなポータルサイトを4月にオープンし、登録団体の更新作業をスムーズに進められた。・「プラネット」には、プラネットに登録団体だけでなく、企業や自治会、行政各課も掲載可能であり、無料で活用できる操作性・デザイン性・拡張性の高いサイトであることから、ユーザー登録に向けて広くPRする。		計画通りに入っている	「プラネット」の運用が本格的にスタートすることから、サイトの新機能となる協働の可視化を目的としたマッチング機能やSNSとの連携、オリジナルマップ作成などを団体とともに活用し、情報を充実させる。また新型コロナウイルスの状況を注視しながら、各団体のページ情報を市内各所で展開したい。		計画通りに入っている	新たなポータルサイトに「プラネット」が4月にオープンし、登録団体の更新作業をスムーズに進められた。・「プラネット」には、プラネットに登録団体だけでなく、企業や自治会、行政各課も掲載可能であり、無料で活用できる操作性・デザイン性・拡張性の高いサイトであることから、ユーザー登録に向けて広くPRする。		計画通りに入っている	「プラネット」の運用が本格的にスタートすることから、サイトの新機能となる協働の可視化を目的としたマッチング機能やSNSとの連携、オリジナルマップ作成などを団体とともに活用し、情報を充実させる。また新型コロナウイルスの状況を注視しながら、各団体のページ情報を市内各所で展開したい。
13	市ホームページのコンテンツの充実・活用	協働推進課		市における協働事業などの取組等、適時情報提供できるように、市ホームページを活用するとともに、協働に取り組む各活動団体の取組等についても、市民、各活動団体等に分かりやすく発信します。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに入っている	随時、コンテンツを作成して情報提供を行うにつつ、既存コンテンツの見直しを行った。		掲載しているコンテンツをより一層市民が活用しやすくなるよう、掲載方法を見直す余地がある。		計画通りに入っている	随時、コンテンツを作成して情報提供を行うにつつ、既存コンテンツの見直しを行った。		掲載しているコンテンツをより一層市民が活用しやすくなるよう、掲載方法を見直す余地がある。		計画通りに入っている	随時、コンテンツを作成して情報提供を行うにつつ、既存コンテンツの見直しを行った。		掲載しているコンテンツをより一層市民が活用しやすくなるよう、掲載方法を見直す余地がある。		計画通りに入っている	随時、コンテンツを作成して情報提供を行うにつつ、既存コンテンツの見直しを行った。		掲載しているコンテンツをより一層市民が活用しやすくなるよう、掲載方法を見直す余地がある。					

府中市市民協働推進行動計画(平成30年度～令和3年度) 進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画				進捗状況															
					R1	R2	R3	H29				H30				R1				R2				
								進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考		
目標(2)情報共有と双方向のコミュニケーション機能の拡充																								
14	双方向のコミュニケーションに向けた取組の検討・実施	広報課		市民が自分に合った広報・広聴の手法をより一層活用することができるよう、SNS(ソーシャルネットワークサービス)を含めた各種情報媒体の活用について適時検討するとともに実施します。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	広報担当者説明会で府中市ソーシャルメディアガイドラインの周知を図った。	SNSを各課が活用できるように、普及・啓発に努めるとともに、引き続き先進自治体の取組み事例などを調査・研究する。	府中市ソーシャルメディアガイドラインの周知機会を設けるため、各種調整を行う。また、先進自治体の取組み事例を調査・研究する。	※協働推進課(Facebook、twitter)、政策課(ラグビー(Facebook、twitter)、経済観光課(Instagram))の導入が図られた。	計画通りに進んでいる	広報担当者説明会で府中市ソーシャルメディアガイドラインの周知を図った。	SNSを各課が活用できるように、普及・啓発に努めるとともに、引き続き先進自治体の取組み事例などを調査・研究する。	府中市ソーシャルメディアガイドラインの周知機会を設けるため、各種調整を行う。また、先進自治体の取組み事例を調査・研究する。	計画通りに進んでいる	広報紙やホームページ、SNS(twitter)などの媒体で行政情報を発信した。	情報発信に対して寄せられた市民の意見などを参考にしつつ、各種施策を展開していく。	計画通りに進んでいる	広報紙やホームページ、SNS(twitter)などの媒体で行政情報を発信した。	外国人や視覚障害のある方も適切に行政情報が受け取れるよう、各種施策を展開していく。	R3.4月～多言語対応アプリ「カタログポケット」で広報の配信を開始 R3.4月～視覚障害のある方が、自身の読み上げソフトで読み上げができるよう、市HPに広報紙全文の掲載を開始	
	市民協働のまちづくりカフェの実施	協働推進課	全課	協働に取り組む市民や各活動団体の代表者、職員等が一堂に会して、テーマに応じたワークショップ形式で情報交換できる機会を提供します。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	市民協働のまちづくりカフェとして、テーマを設定し、市職員によるミニ講演とワークショップを実施した。なお、今年度は東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、各回テーマを設定し行った。 ①文化・教育・持続可能性、②スポーツ・健康・世界への発信、③経済・テクノロジー・まちづくり、④第1回から第3回までの全てのテーマ 【参加者数】 ①33人②41人③	庁内のテーマ応募や市民協働推進員以外の職員の参加が少なかった。	テーマ募集のタイミングを工夫するとともに、まちづくりカフェに参加するメリットを明確にすることで、テーマ応募や参加者の増加を図っていく。また、庁内からの応募状況により、市民にテーマ募集をすることを検討する。	計画通りに進んでいる	市民協働のまちづくりカフェとして、テーマを設定し、市職員によるミニ講演とワークショップを実施した。なお、設定したテーマは、 ①まちのにぎわい・活性化、②防災、③多文化共生、④アイデアを実現するためのステップアップ編 【参加者数】 ①35人②34人③35人④12人 計116人 【参加者満足度】 ①94%②96%③100%④100%	テーマ応募の方法や期間を見直したが、庁内のテーマ応募や市民協働推進員以外の職員の参加が少なかった。	引き続き、テーマ応募や参加者の増加を図っていくとともに、テーマの設定方法を検討していく。	計画通りに進んでいる	市民協働のまちづくりカフェとして、テーマを設定し、市職員によるミニ講演とワークショップを実施した。なお、設定したテーマは、 ①インフラマネジメント、②東京2020大会、③男女共同参画【参加者数】 ①22人②24人③23人 計69人 【参加者満足度】 ①91%②91%③93%	より多くの参加者が集まるよう、従来の実施方法にとらわれず、情報交換の機会を提供する。	計画通りに進んでいる	「みんなら シアワセ・デザイン会議」として、外部講師による講演とワークショップを実施した。なお、講演・ワークショップのテーマは①業界破壊企業～幸せ視点のイノベーション、②府中の社会課題～社会課題解決の実践事例、③ソーシャルビジネス～社会課題の事業化、④横浜市の「共創」～自治体と企業の連携、⑤みんなら～価値あるチャレンジのために 【参加者数】 ①42人②59人③24人④31人⑤15人 計171人	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しながら、より多くの参加者が集まるよう、従来の実施方法にとらわれず、情報交換の機会を提供する。			
推進方策4 協働のコーディネート機能の育成																								
目標(1)協働のコーディネーターの育成及び活用																								
16	協働のコーディネーターの育成及び活用方法の検討	協働推進課		養成講座を実施し、協働のコーディネーターを育成します。また、協働のコーディネーター登録制度等、講座修了生の学びを地域に還元できる仕組みについて検討・実施します。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	前年度に引き続き市民活動「協働推進コーディネーター養成講座」養成講座を実施し、受講生には市民活動センター主催事業(プラッツひろば)の企画・運営に携わっていただいた。	つなぎすとは市民活動センターの事業の補助員の養成機関ではないので、主体的に活動できるネットワークづくり、意識づけを強化していく必要がある。	講座の目的・内容をさらにブラッシュアップし、絞り込んでいく。	平成29年度より指定管理者業務に移管 ※現状、コーディネーター登録制度は制定されていないが、今後コーディネーター養成講座の修了生との関わり方を含め、検討していく。	計画通りに進んでいる	「つなぎすと府中養成講座」(全7回)の開催。 修了生が市民活動団体を作り活動開始。 講座修了生をどのように協働のコーディネーターとして活躍してもらうか、制度を検討した。	「つなぎすと養成講座」に加え、修了生を対象とした「アドバンス講座」を開催し、スキルアップを図る。経験値の不足を補うための「つなぎすと実践塾(インターンシップ)」を開催し、その修了生には、コーディネーターとして仕事を依頼するなどの一連の仕組みをトータルで実施する。	「つなぎすと養成講座」の受講生のレベルがまちまちで、講座に期待するものにはばつきがある。 講座修了生がグループを作り、積極的に活動を始めているが、コーディネーターとしては活動経験値が不足している。	「つなぎすと府中養成講座」(全8回)の開催し、11名が修了。 修了生対象に、交流づくりとモチベーションの維持、更なるスキルアップを目的とした「つなぎすとアドバンス講座」を3回開催し、延べ41名の参加。 実践塾でコーディネーターとしての足掛かりをつかんでもらう。 「つなぎすと」の実践・活用機会を設ける。	継続して「つなぎすと養成講座」を開催し、すそ野を広げていく。アドバンス講座でスキルアップ、ネットワークの向上を図る。 実践塾でコーディネーターとしての足掛かりをつかんでもらう。 「つなぎすと」の実践・活用機会を設ける。	計画通りに進んでいる	「つなぎすと養成講座」は緊急事態宣言の発令により中止としたが、アドバンス講座の回数を増やし、一般参加も受け入れた。オンライン時代のならではの実用的なツールや開催手法について学び、つなぎすととして必要な知識を得る機会を設けた。 「つなぎすと実践塾」として6名が府中市内の団体へのインターンに参加した。 ・内、つなぎすと府中への登録5名	・つなぎすと養成講座は緊急事態宣言の発令により中止としたが、アドバンス講座の回数を増やし、一般参加も受け入れた。オンライン時代のならではの実用的なツールや開催手法について学び、つなぎすととして必要な知識を得る機会を設けた。 ・つなぎすと実践塾として6名が府中市内の団体へのインターンに参加した。 ・内、つなぎすと府中への登録5名	・前年度実施できなかった、つなぎすと養成講座(連続講座)を実施する。 ・つなぎすと実践塾(インターン)も開催し、継続して「つなぎすと府中」としての人材を輩出していく。		
	市民協働推進員の設置	協働推進課	全課	協働に係る先進事例等の情報を収集するとともに、各活動団体とのコーディネート役を担えるよう、各課に市民協働推進員を配置するとともに、各課において協働の取組を更に推進できるよう、効果的な活用を検討・実施します。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	各課に市民協働推進員を設置し、職員研修への出席のほか、市民協働のまちづくりカフェへの出席を通して、協働に必要な対話の大切さを学ぶとともに、個人・職員・事業として理解を深めていく。また、主任以上としていた対象の見直しを行った。 【推進員の数】 52人	各課における協働をより一層推進するため、市民協働推進員の役割を十分に理解いただくとともに、協働事業提案制度についても理解いただくことで、提案数の増加などにつなげる。	市民協働推進員研修にて、オリエンテーションとして市民協働推進員の役割と協働事業提案制度などについて講義を行う。	各課に市民協働推進員を設置し、職員研修への出席のほか、市民協働のまちづくりカフェへの出席を通して、協働に必要な対話の大切さを学ぶとともに、個人・職員・事業として理解を深めていく。また、研修のオリエンテーションで市民協働推進員の役割と協働事業提案制度などについて講義を行った。 【推進員の数】 52人	計画通りに進んでいる	各課に市民協働推進員を設置し、職員研修への出席のほか、市民協働のまちづくりカフェへの出席を通して、協働に必要な対話の大切さを学ぶとともに、個人・職員・事業として理解を深めていく。また、研修のオリエンテーションで市民協働推進員の役割と協働事業提案制度などについて講義を行った。 【推進員の数】 54人	課内・係内で研修内容や学びを共有してもらうよう促す。	計画通りに進んでいる	各課に市民協働推進員を設置し、職員研修への出席のほか、市民協働のまちづくりカフェへの出席を通して、協働に必要な対話の大切さを学ぶとともに、個人・職員・事業として理解を深めていく。また、研修のオリエンテーションで市民協働推進員の役割と協働事業提案制度などについて講義を行った。 【推進員の数】 54人	課内・係内で研修内容や学びを共有してもらうよう促す。	計画通りに進んでいる	各課に市民協働推進員を設置し、職員研修への出席のほか、市民協働のまちづくりカフェへの出席を通して、協働に必要な対話の大切さを学ぶとともに、個人・職員・事業として理解を深めていく。また、研修のオリエンテーションで市民協働推進員の役割と協働事業提案制度などについて講義を行った。 【推進員の数】 54人	市民協働推進員の役割を再認識してもらい、課内・係内で研修内容や学びを共有してもらうよう促す。			

府中市市民協働推進行動計画(平成30年度～令和3年度) 進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画				進捗状況																			
					R1	R2	R3	H29				H30				R1				R2								
					進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考				
推進方策5 市民活動拠点施設等の有効活用																												
目標(1)協働の拠点としての市民活動拠点施設の活用																												
18	市民活動拠点施設の運営に係る市民意見の反映	協働推進課		より使いやすい施設とするために、市民、各活動団体等の利用者を中心に運営協議会を設置し、意見を反映します。	検討	検討	検討	計画通りに進んでいない	利用者アンケートなどを実施し、市民意見を施設運営へ反映させる仕組み作りを開始した。また、運営協議会の設置について検討を行った。	より使いやすい施設とするため、市民の声を施設運営へより反映させるための仕組みの構築を検討する。	利用者アンケートを引き続き実施したうえで、より多くの市民の声を聞くため、投票箱を設置する。また、その声を施設運営へ反映させるための仕組みの構築を検討する。	利用者アンケートの実施、プラッツへの手紙入れボックスを設置し、市民意見を反映させる取り組みを行った。運営協議会の設置は施設運営が軌道に乗ってからということで保留中。	市民の声をより施設運営に反映させ、使いつばなしにならない意識の醸成が必要。	利用者アンケート、日常のロビーワーク、プラッツへの手紙のほか、「運営協議会」の設置についても引き続き検討する。										計画通りに進んでいない	利用者アンケートの実施、プラッツへの手紙ボックスの設置。また月2回の相談所の開設や日常的なロビーワーク、プラッツへの手紙の回収の取組の進捗を反映させる取り組みを行った。	計画通りに進んでいる	コロナ禍のため5階オープンスペース、6階青少年コーナー等の閉鎖により、相談所の開設や日常的なロビーワーク、プラッツへの手紙回収の取組は例年のようにはできなかったが、利用者アンケートと「プラッツの明日を語ろう」(運営協議会)を実施した。	コロナ禍が改善されたら、相談所開設、プラッツへの手紙、ロビーワーク等積極的に取り組む。また、「プラッツの明日を語ろう」(運営協議会)を年2～3回開催し、運営に利用者意見の反映を行う。
目標(2)既存公共施設の活用方策の検討																												
19	協働の推進のための場としての既存公共施設に係る活用方策の検討	建築施設課	各公共施設所管課	公共施設マネジメントの考え方に基づき、既存公共施設の在り方や機能の見直しに当たっては、市民協働機能も含めた市民ニーズを捉えた活用ができるよう、各施設所管課と検討を進めます。	継続実施	継続実施	検討結果とりまとめ	計画通りに進んでいる	協働の推進のための場としての既存公共施設の活用を含めた公共施設マネジメントの取組について、着実に進捗しているため、第2次府中市公共施設マネジメント推進プランを策定した。	既存公共施設について、老朽化の進行状況や市の財政状況も踏まえつつ、協働の推進等の新たな市民ニーズに対応する必要がある。	第2次府中市公共施設マネジメント推進プランに基づき、着実に取組が推進されるように、適切な進捗管理を行う。	第2次府中市公共施設マネジメント推進プランで定める各施設取組の進捗と取組の把握と取組の推進を図った。	既存公共施設について、老朽化の進行状況も踏まえつつ、協働の推進等の新たな市民ニーズを把握し、対応する必要がある。	第2次府中市公共施設マネジメント推進プランに基づき、着実に取組が推進されるように、適切な進捗管理を行う。									計画通りに進んでいる	第2次府中市公共施設マネジメント推進プランで定める各施設取組の進捗と取組の把握と取組の推進を図った。	第2次府中市公共施設マネジメント推進プランに基づき、各施設における取組の適切な進捗管理を行う。また、令和3年度末で第2次推進プランの計画期間が満了したため、新たなプランの策定に向けて検討を行う。	第2次府中市公共施設マネジメント推進プランにおける取組の進捗と取組の適切な進捗管理を行う。また、引き続き第2次推進プランの計画期間満了に伴う次期プランの策定に向けて検討を行う。		
目標(3)新庁舎における協働を支える場の整備																												
20	新庁舎における協働を支える場の整備	新庁舎建設推進室	協働推進課	府中市庁舎建設基本計画の考え方を踏まえながら、新庁舎建設の設計において計画した、市民との協働を支える場を整備します。	継続検討	継続検討	継続検討	計画通りに進んでいる	実施設計において、市民と市の協働のための「市民協働ラウンジ」の具体的な設備等を定めた。	市民協働ラウンジの具体的な運用方法についてより細かく定めていく必要がある。	ハード面の整備として設計は完了したため、今後は、工事に向けて市民協働のあり方等の動向に注視していく。	全体工程に遅れが生じ、平成33年度着工、平成35年度におもや完成、平成39年度にはなれ完成となる予定。	広報特号の発行により、「市民協働ラウンジ」を含め実施設計の内容を周知した。	「はなれ」完成時期を踏まえ、市民協働ラウンジの具体的な運用方法について定めていく必要がある。	市民協働のあり方等の動向に注視していく。	令和元年5月に見直しを行い、新庁舎建設工事の着工時期を令和3年5月とし、しゅん工を令和8年11月に予定している。	計画通りに進んでいる	府中駅北第2庁舎へ先行移転した市民協働推進室において、新庁舎で想定しているオフィスレイアウト及び備品の試行実施を行った。	市民協働ラウンジの備品の選定を進めていくうえで、試行実施の結果を反映するとともに、市民協働のあり方等の動向に注視しながら、具体的な運用方法について定めていく必要がある。			計画通りに進んでいる	新庁舎建設施工者選定委員会を設置し、新庁舎の建設工事を行う施工者の選定を行い、新庁舎建設工事請負契約を締結した。	令和8年度の「はなれ」供用開始に向け、着実に工事を進めるとともに、市民協働ラウンジの運用方法について検討を行う				
推進方策6 市民自身が市民の活動を支える環境づくり																												
目標(1)市民が市民の活動を資金面で支援する仕組みの検討																												
21	寄附をしやすい環境の整備	政策課	全課	市が推進する市民協働の取組に賛同いただき、資金面で支援いただける方からの善意を汲み取りやすくなるため、寄附に係る窓口の一本化や手続の簡素化を図り、寄附をしやすい環境づくりに取り組めます。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	ふるさと納税を通じて本市の魅力をPRするため、市内事業者向けにふるさと納税の返礼品掲載に関する説明会を実施するなど、返礼品の拡充を図った。また、市内事業者だけでなく、「ポータル系平和島」や「府中市美術館」といった市施設を活用した体験型の返礼品も新たに追加した。	寄附金額を一定以上保つことは、定期的な返礼品のリニューアルが必要となるため、新規の返礼品の開拓や府中市をPRできる特産品の開発など対応しなければならぬ。	スポーツチームの協力によるイベントなど、体験型の返礼品を実現できるような、ノウハウの構築と協力企業との調整に努める。また、第6次府中市総合計画の基本目標で定める4分野に係る事業の財源として活用する基金を創設し、寄附金の積立も可能とする。	ふるさと納税を通じて本市の魅力をPRするため、市内事業者向けにふるさと納税の返礼品掲載に関する説明会を実施するなど、返礼品の拡充を図った。	寄附金額を一定以上保つことは、定期的な返礼品のリニューアルが必要となるため、新規の返礼品の開拓や府中市をPRできる特産品の開発など対応しなければならぬ。	市から市内企業に積極的な声をかけるとともに、説明会等を実施し、返礼品の拡大・拡充に努める。								計画通りに進んでいる	ふるさと納税を通じて本市の魅力をPRするため、市内事業者向けにふるさと納税の返礼品掲載に関する案内を広報やホームページを活用して実施し、返礼品の拡充を図った。	新規返礼品の開拓や府中市をPRできる特産品の開発等に対応するため、市から市内企業に積極的な声をかけるとともに、返礼品の拡大・拡充に努める。また、市への寄附を通じて、新型コロナウイルス感染症の影響で困難な状況にある方を支援できるよう、感染症対策のための寄附金を募集する。	ふるさと納税を通じて本市の魅力をPRするため、市内事業者向けにふるさと納税の返礼品掲載に関する案内を広報やホームページを活用して実施し、返礼品の拡充を図った。	寄附者の選択肢が増えるよう、市内業者に協力を仰ぐなど、幅広く魅力的な返礼品を用意する。また、寄附受付窓口の拡充を図るため、ポータルサイトの追加を検討する。		
目標(2)コミュニティビジネス実施団体の育成及び支援																												
22	コミュニティビジネス実施団体の育成及び支援	協働推進課		コミュニティビジネスを実施する市民活動団体や企業等の育成及び支援に取り組めます。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	引き続きコミュニティビジネスガイダンス・個別相談の開催を通じて、コミュニティビジネス実施団体の育成・支援を行った。また、指定管理者との協議のもと、個別相談の曜日や時間帯を変更した。	コミュニティビジネスガイダンス・相談の利用者数が増加していないため、周知方法や内容の見直しや質の向上を目指し、コミュニティビジネスの育成・支援を進める。	講座や相談を周知するためのチラシの変更や内容の見直しを行い、利用機会の増加や質の向上を目指し、コミュニティビジネスの育成・支援を進める。	平成29年度より指定管理者業務に移管	計画通りに進んでいる	SB/CB個別相談、コミュニティビジネス入門講座(3クール)の開催を通じて、SB/CBの起業を促進した。起業支援コーナーの利用の促進に注力し、利用者の交流会を実施するなど、ビジネスチャンス獲得のきっかけの場を提供した。	SB/CBの起業家育成のための、地域内の他機関との連携の場ができていない。起業支援スペースのキャパシティが少ない。	地域内の金融機関、商工会議所・経済観光課との連携体制づくり。テーマを特化したSB/CB起業に関連した連続講座の検討。								計画通りに進んでいる	個別相談の開催、起業支援コーナーの利用促進、「ソーシャルビジネスツアー」の開催、たましん等連携と連携したセミナーの開催などに取り組んだ。	個別相談の開催、起業支援コーナーの利用促進、「ソーシャルビジネスツアー」の開催、たましん等連携と連携したセミナーの開催などに取り組んだ。	個別相談の活用をよりしやすくするために、たましんの月1回の対応以外にも柔軟に対応できるように、アドバイザーの確保といつでもマッチングできる仕組みを作った。起業支援コーナーの本来の目的と減利用状況の整合性を取るため、R2下期より「ソーシャルビジネスラボ」として目的を明確にアピールする方針を固めた。	個別相談アドバイザー23名に登録していたが、相談者のニーズに合わせたマッチングを確保した。合同個別相談会を開催した。NPOガイダンス動画を東京都行政書士会府中支部の協力で作成した。ソーシャルビジネスラボの広報を強化し、セミナー等を開催する。

府中市市民協働推進行動計画(平成30年度～令和3年度) 進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画				進捗状況															
					R1	R2	R3	H29				H30				R1				R2				
					進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	R2年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	R3年度へ向けた取組	備考		
推進方策7 協働事業提案制度の整備																								
目標(1)協働事業提案制度の充実																								
23	市民提案型協働事業提案制度の充実	協働推進課	全課	市民が自由な発想に基づき、協働事業の実施を市に対して提案をできる制度について、複数年度で実施できるよう検討し、充実を図ります。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	事前相談期間を設けることで提案には至らなかったが、相談件数の増加につながった。事前相談数9事業【平成29年度提案事業数】4事業【平成29年度実施事業数】2事業	協働事業提案制度は単年度事業であるため、市の予算要求のスケジュール上、次年度以降担当課における事業化には結び付きにくい。	平成31年度提案募集(平成30年度実施)から複数年度で提案が可能となるよう関係課と調整を行う。また、制度への庁内理解が不十分であるため市民協働推進員研修や係長職対象研修で周知を行う。			計画通りに進んでいる	平成31年度提案募集(平成30年度実施)から複数年度で提案が可能となったことから、より一層制度の周知と庁内理解を推進する必要がある。また、事前相談業務を指定管理者に移行したことから、指定管理者の制度への十分な理解が必要である。	庁内へのより一層の制度周知を図るため、市民協働推進員研修や管理監督職対象研修で周知を行う。	計画通りに進んでいる	【令和元年度提案事業数】3事業【令和元年度実施事業数】5事業	庁内へのより一層の制度周知を図るため、市民協働推進員研修や管理監督職対象研修で周知を行う。	計画通りに進んでいる	【令和2年度提案事業数】2事業【令和2年度実施事業数】2事業	応募の様式を見直すとともに、制度への庁内理解が不十分であるため職員研修等で周知を行う。		
24	行政提案型協働事業提案制度の充実	協働推進課	全課	市が定めた地域課題に係るテーマに基づき、協働事業の実施を市に対して提案できる制度について、より活用しやすい制度となるよう検討し、充実を図ります。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	募集時期の見直しを行うとともに協働可能性調査において行政提案型協働事業の活用を呼び掛けるための改善を行った。【平成29年度提案事業数】3事業【平成29年度実施事業数】2事業	庁内からのテーマ応募が少なく、提案数も減少傾向にある。	市民協働可能性調査で行政提案型協働事業の活用を促す。また、市民協働推進員研修や今年度から実施する係長職対象研修等で周知する。		計画通りに進んでいる	募集時期の見直しを行うとともに協働可能性調査において行政提案型協働事業の活用を呼び掛けるための改善を行った。【平成30年度提案事業数】1事業【平成30年度実施事業数】1事業	庁内からのテーマ応募が少なく、提案数も減少傾向にある。	応募の回答様式を見直すとともにテーマ応募時に他事例の紹介など積極的に活用を促す。【令和元年度提案事業数】1事業【令和元年度実施事業数】1事業	庁内からのテーマ応募が少なく、提案数も減少傾向にある。	計画通りに進んでいる	テーマ応募の回答様式を見直すとともにテーマ応募時に他事例の紹介を行うなど、積極的に活用を促し、提案数増加のための改善を行った。【令和2年度提案事業数】1事業【令和2年度実施事業数】1事業	応募の回答様式を見直すとともに職員研修時に制度紹介を行うなど積極的に活用を促す。				
25	様々な主体による協働事業の提案の仕組みの検討	協働推進課	全課	各活動団体が、様々な主体との協働事業の実施を提案できる仕組みについて、検討し、整備します。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	市民活動センターにおいて、魅力的な活動の発掘と、立ち上げまもなく、事業実施の経験がない団体の育成を目的に、「ブラッツ」として事業企画運営で協働する団体等を公募し、その実施に向けて伴走サポートを行った。	市民活動センターが「ブラッツ」として中間支援組織として提案団体の伴奏サポートしていく中で、様々な主体の新たなつながりが生まれている。そのような動向を踏まえて、市においても引き続き検討を行う。		計画通りに進んでいる	市民活動センターにおいて、魅力的な活動の発掘と、立ち上げまもなく、事業実施の経験がない団体の育成を目的に、「ブラッツ」として事業企画運営で協働する団体等を公募し、その実施に向けて伴走サポートを行った。	市民活動センターが「ブラッツ」として中間支援組織として提案団体の伴奏サポートしていく中で、様々な主体の新たなつながりが生まれている。そのような動向を踏まえて、市においても引き続き検討を行う。	市民活動センターにおいて、魅力的な活動の発掘と、立ち上げまもなく、事業実施の経験がない団体の育成を目的に、「ブラッツ」として事業企画運営で協働する団体等を公募し、その実施に向けて伴走サポートを行った。	市民活動センターが「ブラッツ」として中間支援組織として提案団体の伴奏サポートしていく中で、様々な主体の新たなつながりが生まれている。そのような動向を踏まえて、市においても引き続き検討を行う。	計画通りに進んでいる	職員研修やその他事業において、市民や職員に対して協働事業の提案先窓口となる旨を強調し、提案があった際は、協働相手とのマッチングや協働事業の伴走を行った。(「ブラッツ」は助成金制度見直しによりR1にて終了し、R2より「メール」へ統合。)	引き続き、協働推進課が協働事業の提案先窓口となることについての周知を図るとともに、協働推進課のコーディネート機能の充実にも努める。					
目標(2)市の事務事業に係る協働事業化の検討																								
26	市の事務事業に係る協働事業化の推進	協働推進課	全課	市の事務事業の協働の可能性を検討するため、引き続き協働可能性調査を実施します。また、調査結果を活用するとともに、事務事業評価制度や政策会議などを通じ、新たな協働事業の実施に係る提案を促進します。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	調査項目の見直しを行い協働で実施していない事業について行政提案型協働事業の活用につなげるよう、改善を図るとともに、調査方法についても見直しを行った。	協働で実施していない事業については「行政提案型協働事業」の制度を活用するよう呼び掛けているが、より積極的に協働の可能性を検討する仕組みが必要である。	引き続き、調査項目の見直しを行い協働可能性調査を通じて主管課がより積極的に新たな協働事業の実施に係る提案や職員提案などの業務改善につなげられるよう働きかける。		計画通りに進んでいる	調査項目の見直しを行い協働で実施していない事業について行政提案型協働事業の活用につなげるよう、改善を図るとともに、調査方法についても見直しを行った。	協働で実施していない事業については「行政提案型協働事業」の制度を活用するよう呼び掛けているが、より積極的に協働の可能性を検討する仕組みが必要である。	引き続き、調査項目の見直しを行い協働可能性調査を通じて主管課がより積極的に新たな協働事業の実施に係る提案や職員提案などの業務改善につなげられるよう働きかける。	新たな協働事業の実施に係る提案を促進するため、職員研修や庁内報にて「行政提案型協働事業」の周知を行うとともに、ブラッツの活用や企業との連携に関する周知を行った。	市の事務事業の協働化の検討や、新たな協働事業の実施に係る提案を促進するよう、引き続き、「行政提案型協働事業」、ブラッツ及び企業との連携の活用について、周知を行う。	計画通りに進んでいる	新たな協働事業の実施に係る提案を促進するため、職員研修や庁内報にて「行政提案型協働事業」の周知を行うとともに、ブラッツの活用や企業との連携に関する周知を行った。	市の事務事業の協働化の検討や、新たな協働事業の実施に係る提案を促進するよう、引き続き、「行政提案型協働事業」、ブラッツ及び企業との連携の活用について、周知を行う。			
推進方策8 協働を推進するための組織的な仕組みづくり																								
目標(1)協働事業の相談・提案に係る受付とマッチングに関するルールの整備																								
27	協働事業の相談・提案に係る受付とマッチングに関するルールの周知	協働推進課	全課	市民や各活動団体から、協働事業の実施等について相談や提案を受け場合や、協働事業の提案がなされた場合のマッチングの仕組みなどを示す庁内のルールについて更新の周知を図ります。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	「提案型協働事業募集要領」の作成にあたり、問合せが多い質問をQ&Aとして掲載するなど、引き続き内容の充実を図った。	提案型協働事業の事前相談業務が市民活動センターに移るため、市民への周知や、市民活動センターに市の取組の方向性を理解していただく必要がある。	引き続き、問合せが多い質問のQ&Aを更新するほか、市民活動センターへの事前レクや自治会回覧等での周知を図る。		計画通りに進んでいる	「提案型協働事業募集要領」の作成にあたり、問合せが多い質問をQ&Aとして掲載するなど、引き続き内容の充実を図った。	提案型協働事業の事前相談業務が市民活動センターに移るため、市民への周知や、市民活動センターと連携しながら制度周知を図る。	引き続き、問合せが多い質問のQ&Aを更新するほか、市民活動センターと連携しながら制度周知を図る。	計画通りに進んでいる	「提案型協働事業募集要領」の作成にあたり、問合せが多い質問をQ&Aとして掲載するなど、引き続き内容の充実を図った。	引き続き、問合せが多い質問のQ&Aを更新するほか、市民活動センターと連携しながら制度周知を図る。					

府中市市民協働推進行動計画(平成30年度～令和3年度) 進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画				進捗状況																			
					R1	R2	R3	H29					H30					R1					R2					
					進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考				
目標(2)協働の推進に資する体制づくり																												
28	市民協働推進委員会の設置	協働推進課		協働事業の進捗状況等について、連絡調整を行うため、協働事業を実施する関係部署において構成する市民協働推進委員会を設置するとともに、更なる活用を図ります。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいない	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や、意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。【開催回数】2回	協働可能性調査の実施時期の見直し等により適切なタイミングに開催ができず、情報交換の機会が減ってしまっただけ。	適切な時期に委員会を開催し、より効果的・効率的に情報交換ができるよう取り組んでいく。			計画通りに進んでいる	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や、意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。【開催回数】3回	各課において協働を推進できるような働き掛けについて、より意見をいただく必要がある。	継続して当該委員会を設置し、関係部署との連絡調整を行っている。			計画通りに進んでいる	引き続き市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や、意見交換等を通して、連絡調整を行うとともに、協働事業評価対象事業の抽出を行った。【開催回数】1回	継続して当該委員会を設置し、関係部署との連絡調整を行っている。			計画通りに進んでいる	市民協働の推進に係る各種事業の実施結果の報告や、意見交換等を行った。【開催回数】1回、7月～3月、新型コロナウイルス感染症対策市民協働事業「Share Fuchu Project」の2次審査を実施した。【書面開催回数】9回	継続して当該委員会を設置し、関係部署との連絡調整を行っている。	※Share FUCHU Project…新型コロナウイルス感染症により市内に生じている地域課題を解決するために市民活動団体等が実施する事業に対して、市からの奨励金交付の支援等を行うことで、市民協働による地域課題の解決を促すもの
	市民協働推進員の設置	協働推進課																										
29	市民協働推進会議の設置	協働推進課		協働の推進に係る取組の進捗状況等について評価・検証を行うとともに、基本方針や市民協働推進行動計画の見直し、条例制定等について調査・研究を行うため、市民や学識経験者等で構成する市民協働推進会議を設置します。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	協働事業の評価、提案型協働事業の選定、行動計画の間見直し、協働の推進に関する条例の要件を含めた検討を行った。【開催回数】5回	評価項目の見直しを含め、より効果的・効率的にヒアリングが実施できるよう検討する必要がある。	ヒアリング及び評価を効果的に行うことができるよう、事前に委員より、効果的な質問事項の調査を行い共有を行う。また、条例の要件を踏まえた検討に当たり、都内の事例を含めスムーズな会議の運営となるよう、資料を事前送付する。			計画通りに進んでいる	協働事業の評価、提案型協働事業の選定、協働の推進に関する条例の要件を含めた検討を行った。また評価項目や評価方法の見直しの検討を行った。【開催回数】5回	より効果的・効率的にヒアリングが実施できるよう検討する必要がある。	ヒアリング及び評価を効果的に行うことができるよう、実施方法の見直しを検討する。			計画通りに進んでいる	協働事業の評価、提案型協働事業の選定を行った。また評価項目や評価方法の見直しの検討を行った。【開催回数】3回	ヒアリング及び評価を効果的に行うことができるよう、実施方法の見直しを検討する。			計画通りに進んでいる	協働事業の評価、提案型協働事業の選定を行った。【開催回数】1回	評価を効果的に行うことができるよう、実施方法の見直しを検討する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催内容及び回数を削減し、開催した。
	市民協働推進会議(仮称)の設置	協働推進課																										
目標(3)政策形成過程への参画のための公募委員制度の拡充																												
30	附属機関等に係る公募市民枠の拡充	政策課		市の施策の検討等を行う際に、広く市民の意見を聞くため、附属機関等を設置する際には、公募委員制度を積極的に採用するとともに、より市民が参画しやすいよう、制度を拡充します。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいない	H29.4.1現在46.3%(前年比-3.7%)	専門的な知識、経験を有する者を委員とする場合や設置期間が長い機関については、改善が困難である。	公募委員が在籍する附属機関等の割合が増加するよう、関係課に働きかけを行っている。			計画通りに進んでいない	H30.4.1現在44.9%(前年比-1.4%)	専門的な知識、経験を有する者を委員とする場合や設置期間が長い機関については、改善が困難である。	公募委員が在籍する附属機関等の割合が増加するよう、関係課に働きかけを行っている。	各附属機関等の委員選任に係る調整を適正に行い、公募委員が在籍していない機関については積極的に採用がなされるよう関係課に働きかけていく。	専門的な知識、経験を有する者を委員とする場合や設置期間が長い機関については、改善が困難である。	計画通りに進んでいる	H31.4.1現在45.1%(前年比+0.2%)			計画通りに進んでいる	R2.4.1現在50.9%(前年比+5.8%)	各附属機関等の委員選任に係る調整を適正に行い、公募委員が在籍していない機関については積極的に採用がなされるよう関係課に働きかけていく。	専門的な知識、経験を有する者を委員とする場合や設置期間が長い機関については、改善が困難である。	
	市民協働推進会議(仮称)の設置	協働推進課																										
推進方策9 協働事業の評価・検証の仕組の整備																												
目標(1)評価・検証の手法の検討・整備																												
31	評価結果等の共有及び改善に向けた取組の実施	協働推進課	全課	市民と市とが実施した協働事業について、市民と市それぞれの立場から、整備をした評価・検証の手法に基づき点検・評価を行い、課題や改善点を共有するとともに、具体的な改善に取り組みます。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいない	協働事業等評価制度に基づき評価結果を事業実施者等に共有した。また、庁内で報告するとともに、市ホームページにおいて公表した。	実績調査等の実施時期の見直し等により、評価対象事業の後追い調査について、事業への反映等タイミングを含めて検討する必要があるため、未実施となった。	評価結果の公表とあわせ、評価対象事業について後追い調査を実施し、改善の取組を把握する。			計画通りに進んでいる	評価結果の公表とあわせ、評価対象事業について後追い調査を実施し、改善の取組の把握を行った。	引き続き、評価結果の公表とあわせ、評価対象事業について後追い調査を実施し、改善の取組を把握する。	引き続き、評価結果の公表とあわせ、評価対象事業について後追い調査を実施し、改善の取組を把握する。			計画通りに進んでいる	協働事業等評価制度に基づき評価結果を事業実施者等に共有した。また、庁内で報告するとともに、市ホームページにおいて公表した。	引き続き、評価結果の公表とあわせ、評価対象事業について後追い調査を実施し、改善の取組を把握する。			計画通りに進んでいる	提案型協働事業について、評価シートを使用した自己評価及び相互評価を実施した。なお、コロナ禍のため、第三者による評価会は未開催。	コロナ禍でできる評価方法を検討し、実施する。	
	市民協働推進会議(仮称)の設置	協働推進課																										

府中市市民協働推進行動計画(平成30年度～令和3年度) 進行管理シート

No	推進方策・目標・施策	主管課	関係課	事業内容	計画				進捗状況																				
					R1	R2	R3	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	課題	次年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	R2年度へ向けた取組	備考	進捗状況	実績	R3年度へ向けた取組	備考				
					H29	H30	R1																			R2			
推進方策10 協働の取組を効果的に進めるための行動計画の策定及び条例の整備																													
目標(1)市民協働推進行動計画の進行管理の実施																													
32	市民協働推進行動計画の見直し	協働推進課		市民協働を効果的に推進するため、社会経済情勢の変化等を踏まえ、市民協働推進行動計画の見直しを行います。		実施	実施	完了(目標を達成)	平成27年度、28年度の取組内容の進捗を踏まえ、市民協働推進会議での検討及び、パブリックコメントを実施し、平成30年度から33年度までの期間の計画を策定した。 【冊子】 300冊																	計画を変更して実施している	府中市市民協働の推進に関する基本方針の見直しを行ったうえで、市民協働推進行動計画を含めた進行管理方法を検討することに計画を変更し、第7次府中市総合計画と連動した進行管理ができるよう関係課と調整を行った。	府中市市民協働の推進に関する基本方針の改定に向けた準備を行う。	
	33	協働に関する事例等の調査・研究の実施	協働推進課		市民協働の効果的な推進に向けて、他自治体における先進的な協働事例等について、調査・研究を行います。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	他市との情報交換や研修等を通じ、先進的な協働事例等について、調査・研究を実施した。	継続して協働に関する事例等について、調査・研究を行う。																計画通りに進んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響により、書面でも他市との情報交換を行い、先進的な協働事例等について、調査・研究を実施した。	継続して協働に関する事例等について、調査・研究を行う。
34	協働に関する各種アンケート調査等の実施	協働推進課		市民協働の進捗状況や成果等を把握するとともに、効果的な推進方策を検討し、市民協働推進行動計画の見直し等に反映するため、適宜、市民や各活動団体、職員等に対し、アンケート調査を実施します。	継続実施	継続実施	継続実施	計画通りに進んでいる	「市政世論調査」や、庁内の「協働事業に関する実績調査」、「職員意識調査」等、各種調査を実施した。	回答しやすいよう、適宜調査票の見直しを行うとともに、継続して各種アンケート調査を実施する。																計画通りに進んでいる	「市政世論調査」や、庁内の「協働事業に関する実績調査」、「職員意識調査」等、各種調査を実施した。	回答しやすいよう、適宜調査票の見直しを行うとともに、継続して各種アンケート調査を実施する。	
	市民協働推進会議の設置		協働推進課																										
目標(2)市民協働の推進に関する条例の制定に係る調査・研究の実施																													
35	市民協働の推進に関する条例の制定に係る調査・研究の実施	協働推進課		条例を制定している先行事例について調査を行うとともに、その要否を含め、条例制定の課題等について研究します。	検討結果に対応	検討結果に対応	検討結果に対応	計画通りに進んでいる	先進事例である、長崎市への視察を実施したほか、協働に関する条例制定市93市のうち、人口規模が同程度の自治体9市に調査を実施した。	引き続き、市民協働推進会議において、検討を行う。																計画通りに進んでいる	市民協働推進会議において、検討を行い、後期基本計画における各施策の取組の協働による成果や他市事例に注視していく。	後期基本計画における各施策の取組の協働による成果や他市事例に注視していく。	
																												計画通りに進んでいる	市民協働推進会議において、検討を行い、後期基本計画における各施策の取組の協働による成果や他市事例に注視していく。